

Title	日本の株式市場におけるEarnings Surpriseと株価反応
Sub Title	
Author	前川直昭(Maekawa, Naoaki) 和田賢治
Publisher	慶應義塾大学大学院経営管理研究科
Publication year	2001
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	修士学位論文. 2001年度経営学 第1715号 連絡が必要
Genre	Thesis or Dissertation
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00002001-1715

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

論文要旨

所属ゼミ	和田賢治研究室	学籍番号	80028765	氏名	前川 直昭
(論文題名)					
日本の株式市場における Earnings Surprise と株価反応					
(内容の要旨)					
<p>当論文では、決算サプライズが株価に与える影響につき考察する。具体的には、1996年～2000年の日経225構成銘柄の公表業績とその予測値の乖離が、株価に与える短期的影響を定量的に考察する。</p>					
<p>決算サプライズ効果とは、企業の「決算予想」に対して、発表された決算の「実績値」を比較して、これらの差の符号と株価が同じ方向に変化するという現象である。当論文では、この決算サプライズ効果につき、日本株に関し、先行研究に対して実証内容を深めることを目的としている。</p>					
<p>分析にあたっては、日経会社情報の収益予測に対する決算サプライズの符号に対して、株式が反応しているかを説明し得る実証研究モデルを用いて検証を行った。</p>					
<p>実証結果としては、決算サプライズの符号と決算公表翌日以降の株価が同じ方向に変化することで、決算サプライズ情報の有用性が示唆された。しかし、プラスの決算サプライズに対する市場反応は極めて短期間に留まることが判明した。また、マイナスの決算サプライズの場合は、決算後の株価が継続的に負の影響を受ける傾向がみられ、マイナスのサプライズが市場にもたらすインパクトが大きいことが判明した。ただ、こうしたマイナス・サプライズのインパクトも決算後20日目前後で株価に織り込まれることが判明した。</p>					
<p>このように、日本の株式市場における決算サプライズ効果は、その効果が極めて短期間に及ぶ点で、投資家の観点からは、運用パフォーマンス向上の源泉となる可能性は低いことが示された。一方で、企業経営の観点からすれば、マイナスのサプライズは、株価の短期的な下落要因となり得る点で、積極的なディスクロージャーの意義が示唆された。</p>					